

いじめ0ミーティングに参加して【6年生】

11月12日、町内の6年生と中学1年生を対象とした「いじめ0ミーティング」が、生涯学習センターで開催されました。本校からは6名の6年生が参加し、班ごとに分かれて「いじめ」についてじっくり考えを深めました。

この会は、伊方町の児童生徒一人一人が「いじめを絶対に許さない」という強い気持ちを持ち、いじめの問題を自分自身の課題として考え、根絶していく姿勢を育てることを目的としています。

事後アンケートによると、参加した6年生は「参加してよかった」と感じているようです。

	とても よかった	よかった	どちらか といえば よかった	あまり よくな かった	よくな かった
いじめ0ミーティングに参加 してみて	3	2	0	1	0
「いじめ」について自分なりに 考えることができたか。	4	0	2	0	0
積極的に意見を発表することが できたか。	1	1	2	2	0

その理由として、次のような声が寄せられました。

- いろいろな人の意見を聞いて学ぶことがあったから。
- いじめについて、たくさんの意見を聞くことができたから。
- 自分と同じ悩みを持つ人がいると分かったから。
- 自分が何気なくしていたことも、いじめにつながると気付いた。
- あまり手を挙げられなかったことが心残りだった。
- これまで「変だ」と思っていたことも、今は「自分の個性」だと思えるようになったから。

他校の児童や中学生の考えに触れたことで、多くの気付きや刺激があったようです。

また、『「変じゃね」という言葉をこれからは使わないようにしたい』『みんなで話し合いながら考えられてよかった』『いろいろな悩みを知ることができた』『相手の気持ちが分かるようになった』『グループでの話し合いがよかった』『自分と違う人がいても、その人の個性として受け止めたい』など、これまでの自分を振り返り、これからの行動につなげたいという前向きな感想も多く見られました。

6年生は、身体的にも心の面でも大きく成長する時期です。その一方で、発達の個人差が大きく見られ、自分に自信が持てず劣等感を抱きやすい年齢でもあります。また、仲間との関わりが深まると同時に、時には閉鎖的なグループができ、周囲に同調してしまう行動が見られることもあります。

そのような時期に、「自分と同じ悩みを抱える友達がいること」や「相手に敬意を持って接することの大切さ」を学べたことは、とても貴重な経験だったと思います。

最高学年として、この会で得た学びや気付きを胸に、これからも学校のリーダーとして下級生を温かく導いてくれることを期待しています。

